市議会報告

９月市議会の日本共産党の一般質問は、村井あけみ市議と土屋とものり市議が行いました。概要の一部をご報告します。

村井あけみ

土屋とものり

就学援助　入学準備金の前倒し支給 ― 「早期実施に向け検討」

「就学援助」は、すべての子どもが安心して勉強できるよう、経済的に困難な家庭を対象に、小・中学校の学用品費などの費用の一部を援助する制度です。

入学準備金も支給されますが、支給時期が６月末のため入学時に間に合わず、制服やランドセルなどの購入費用は重い負担となっています。

入学に間に合うように

全国では、入学の前年度に支給する自治体が増えています。

福山市でも改善するよう、日本共産党市議団は３月議会から重ねて要望してきましたが、今議会で「他の市町の状況も参考に、早い段階で実施できるよう検討している」との教育長の答弁を得ました。

子どもの貧困が社会問題となるなか、就学援助の役割はますます重要です。

支給費の増額など、引き続き改善に取り組みます。

受付：各学校、市学事課
問合せ：市学事課
（電話928・1169）

鞆　歴史的町並みの保存を万全に ― 検討進む

福山市は８月28日、鞆町の伝建保存地区を「重要伝統的建造物群保存地区」に選定するよう、国に申請しました。

貴重な鞆の町並みを残すための待望の取り組みです。今後は、歴史的建造物の万全な保存整備がさらに重要となります。

行政内部に専門家を

行政内部に専門家が常駐して日常的に指導・助言できる体制や、市職員の※ヘリテージマネージャー資格の取得推進などを、他市の先進事例を示して強く要望しました。

市は「行政内部の強化や外部組織との連携を、調査・検討している」と答えました。

伝統技術・技能の育成を

保存技術や伝統技能をもつ技術者・技能者の育成も急務です。

建設業者などと協力して施策を講じるよう求め、「建築士会等と連携し、必要な環境づくりに努めたい」との答弁を得ました。

歴史的景観を守る修理・修景の施行体制を

修理・修景工事を行う業者の規制について質問。市は、ヘリテージマネージャー資格について「大変重要」と述べ、「建造物の所有者へ資格者がいる事業所を情報提供する」と答弁しました。

また、重伝建の修理は、多くの調査が必要で時間もかかります。設計士や建築士が安心して必要な調査ができるよう、「設計調査費」に特別な配慮を求め、「望ましいあり方を今後の課題としている」との答弁がありました。

※ヘリテージマネージャー＝歴史的建造物の保全・活用に携わる専門家

喫煙場所が改善されます！　受動喫煙の防止を

市は、受動喫煙防止のため、７月から市役所庁舎内を禁煙にしています。

ところが、屋外の喫煙所を１階の南側出入り口横（ほか６カ所）に設置したため、「タバコの煙が漏れる」と市民から苦情の声が寄せられていました。

庁舎管理を担当する総務委員会所属の高木たけし市議は、受動喫煙防止のための「広島県がん対策推進条例」を示し、喫煙場所の再検討を求めました。

市は、「庁舎内に煙が入ってくることもある」と認め、「喫煙場所を改善する」と答えました。

また、庁舎内１階ロビーのタバコ自販機の撤去や禁煙の案内表示の増設についても要望し、前向きな答弁がありました。

出入り口近くの喫煙所は、壁や仕切りがありません

公的年金等の受給者の扶養親族等申告書　マイナンバーなくても受理されます！

年金受給者の扶養控除届に、今年から「マイナンバーを記入しないと申出書を返す」との記載があった問題で混乱が広がり、党市議団にも「書かないといけないのか」と問合せがありました。

すぐに党国会議員らが厚労省、国税庁、年金機構に説明を求め、「マイナンバーなしでも受理される」ことを確認しました。

日本共産党
議員団NEWS
発行　日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市霞町3-4-25-401
電話・FAX084-922-2815

村井あけみ

高木たけし

土屋とものり

河村ひろ子